

第7回東日本大震災草の根支援組織応援基金配分先一覧(10団体、計379万2442円)

No	団体名 (設立年)	活動拠点 (代表者名)	支援活動概要	資金使途	配分額 (円)
1	(特活)青空保育たけの子 (2012年)	福島市 (邊見 妙子)	原子力災害による影響を受けた福島県内の子どもたちの日常的な自然体験を支援するために、週日の毎日、福島市から山形県米沢市へ無料送迎バスを運行する。	・ガソリン代などの移動費 ・パート人件費	284,000
2	(特活)いなほ (2015年)	盛岡市 (佐藤 昌幸)	①介護予防に有効な環境整備、②月4回実施するサロンでの介護予防教室の実施、③内陸避難者と地域住民の関係づくり。	・スポーツ用品 ・ガソリン代などの移動費 ・インターネットなど通信費	284,213
3	(特活)子どもの村東北 (2012年)	仙台市 (飯沼一宇)	震災孤児を対象に学習支援、社会体験の機会を提供し、養育環境の悪さに起因する学習の遅れ、社会経験不足を解消させ、自己肯定感を向上させる事業を実施。	・旅費交通費 ・実習先入場料 ・学習塾費用	530,000
4	(特活)3.11こども文庫 (2012年)	相馬市 (蟹江 杏)	①書籍等の充実、イベントの取組み内容の改善、②被災地と県外地域の子どもたちとの相互理解を図るための「3月11日の、あのね。」展の開催。	・絵本購入費 ・展示会の運搬費 ・講師謝礼金 ・チラシ等印刷費など	280,450
5	(特活)しんぐるまざあず・ふおーらむ・福島 (2007年)	郡山市 (遠野 馨)	被災者や避難者を対象に、いわき市、福島市、白河市で手芸講座「チクチクまざっぺ講座」を開催。	・ガソリン代などの移動費 ・材料費 ・レンタカー利用料	284,000
6	すくのびくらぶ (2014年)	いわき市 (前澤 由美)	子育て中の家族・地域・専門家や関係機関等と連携した、学習支援や進学支援の実施。	・学生指導員謝金 ・インターネットなど通信費 ・実習工作材料費など	547,442
7	仙台セラピ・ド・ジュ研究会 (2016年)	仙台市 (佐藤 葉子)	①遊戯療法を用いた被災児童の心のケアと保護者の支援の実施、②遊戯療法の支援効果を踏えた支援方針の検討会の実施、③遊戯療法等の技術向上および啓発を目的とした研修会の開催。	・玩具購入費 ・研修会の会場費、準備費 ・スタッフ人件費 ・チラシ印刷費など	416,449
8	福島県立ふたば未来学園高等学校 (2015年)	広野町 (丹野 純一)	新校舎に設置されるカフェの企画運営、②広野町マルシェの企画運営への参画と出店、③広野町サマーフェスティバルへの出店、④他校との交流を通じた地域理解活動の実施、⑤地域に根ざした各種イベントの開催など。	・飲食物製造器具類、食器 ・イベント用機材レンタル費 ・学校交流用旅費 ・チラシ、ポスター印刷代	400,000
9	(一社)まなびの森 (2011年)	角田市 (坂本 一)	中・高生の放課後学習支援、中学校の日中授業補助、長期休業中の学習会、夜間の学習支援などを実施。	・学習支援用の教材購入費	435,000
10	(特活)パワーアップ支援室 (2010年)	北上市 (本館 淳)	①復興支援ハウスおらえの屋外における復興カフェの設置、②休耕地の整備と被災者への貸し出し、買い物代行、傾聴支援などの実施、③復興情報やローカル情報を中心とした冊子およびおらえ新聞の発行。	・パソコン、プリンタなどの機材 ・ガソリン代などの移動費 ・パート人件費 ・チラシ印刷費	330,888
合 計					3,792,442